

山崎 澄子議員

ふるさとづくり 寄付金について

議員 ふるさとの発展や町づくりに思いをよせる人達から多額の寄付金が寄せられています。

町では金額に応じて返礼品を定めています。返礼品の内容によって各自自治体に寄せられる寄付金額に差が出ているようです。

① 6月より稼働しているインターネットでの申し込みは全体のどのくらいを占めているか。

② 返礼品経費の占める割合は、寄付金額に対してどのくらいか。

③ 7指定事業に対して今までの利用率はどうか。

④ この制度に対して今後どのような広報活動をするか。

町長 ①平成28年度の11月30日現在のインターネットからの申し込みは545件、1999万円で、全体件数の73%です。町外の個人からの寄付に限定すると全体の99%で、昨年度は、24件でしたので、2196%の伸び率です。

② 返礼品の配送料も必要ですので、寄付金額の概ね4割以下としています。

③ これまでに教育・文化・スポーツ活動に関



する事業に190万円、住民参加のまちづくりに関する事業（花火大会）に2075万8千円、その他町長が必要と認めた事業に196万1千円を使用しています。

今年度予算でも、文化会館や小学校トイレ改修事業、社会福祉費等に充当しています。

④ 町のホームページやふるさと納税のポータルサイトで、町の情報を発信し、返礼品の充実に努めます。また、携帯電話での決済ができるようにし、寄付件数の増加を図ります。

山崎 澄子議員

公共施設の トイレ改修

小学校や公共施設等はどうでしょうか。これらの公共施設等は、災害時には地域住民の避難場所になります。

このように地域住民が楽しく集える場所、また安心して避難できる場所の今後の改修計画はどうなっていますか。

町長 近年建築された建物、道の駅などの観光施設の屋外トイレは、洋式化率100%です。

社会教育関連施設、学校教育関連施設、都市公園関連施設等の公共施設は50施設あり、洋式化率は69.9%です。うち小学校は3施設で、洋式化率は66.9%です。

文化会館、公民館、役場等の建物は、一部和式トイレがあります。

が、和式トイレの必要性も考慮しながら、十分検討したうえで対応していきます。

また、避難場所の改修計画ですが、今後、公共施設全体を通して、トイレの洋式化率の向上を図っていただくと考えています。なお、役場庁舎、文化会館、ら・ら・かんら、総合福祉センター等の大規模施設については、多目的トイレが整備されています。



議員 インターネット

トの甘楽町公式ホームページに「甘楽町50年のあゆみ 写真と映像で辿るデジタルアーカイブ」のページがあり、さくら祭りや楽山園、雄川堰等が動画で紹介されています。しかし、同ホームページには「観光情報」のページもありません。

甘楽町に興味を持った多くの人は、観光や催し物、特産物などをまず「観光情報」ページから情報収集すると思われる。

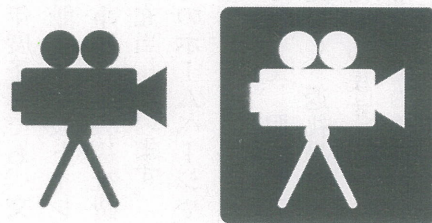
多くの情報が伝えられる動画は魅力であり「観光情報」での紹介が、より一層PR効果を発揮すると思われる。よって、掲載ページの移動や入替えなどをしているかがでしょうか。また今後のホームページ活用の考えをお聞かせください。

金田 倍視議員 町ホームページ活用 による観光PRの 充実について

町長 最近、スマートフォンやソーシャルネットワーキングサービス(SNS)等の利用が急速に進み、情報発信も様々な方法が生まれています。町の観光をPRするのにインターネットの活用は重要であると考え、多くの情報を分かりやすく伝える

ために、動画の配信が有効ですので、町のホームページの「観光情報」から町の紹介動画にアクセスできるようにし、常に新しい情報を提供できるように努めます。

また、過日、甘楽町公式フェイスブックを開始しました。今後は、他のSNSや動画投稿サイト「ユーチューブ」等も活用して、観光する人たちが興味を持つような情報を発信できるように努めます。



中野 喜久勇議員

町道の整備について

うですので、この道路の整備を早急に実施してほしいと思います。町の考えを伺います。

障をきたしている状況を確認していただきます。まずは土地所有者に道路上へ倒れている竹等の伐採をお願いし、通行を確保したいと考えています。

議員 小幡地区宝泉寺西側の町道は、主に農作業用の自動車が行き交いますが、路面が荒れるとともに山側の竹などが倒れ通行に支障をきたすことがあり、路肩も軟弱で危険な状態にあります。

また最近、健康保持のため散歩をするなど歩行者も増えているよ

町長 ご質問の道路は、「町道立足2号線」で、路線延長は411m、うち397mは幅員が1.5m以上2.5m未満の狭隘な道路です。現況は、ほとんどが砂利道で、北側の基点から見ると左側の斜面が竹藪、右側の法下に農地があります。多くが休耕田と見受けられます。

事業効果を発揮させるためには大規模な改良工事が必要となりますので、当面はご質問の中にありましたが、竹が倒伏して通行に支

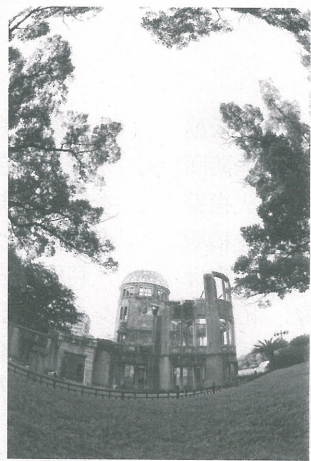


山田 邦彦議員

核兵器廃絶のために

議員 町長は6年前「平和首長会議」に加盟されました。これは大変意義のあることだと思います。その目的は、「核兵器廃絶を実現させる」とともに、人類の共存を脅かす飢餓、貧困、難民、人権などの諸問題の解決、世界恒久平和の実現に寄与する」としています。

10月に国連で採択された「核兵器禁止条約」の交渉開始を記した決議案に日本政府が反対しました。私は日本政府の態度について、悲しき、怒り、憤りを感じましたが、
①町長は、この日本政府の態度についてどう思うか。
②平和首長会議が決めた「最終コミュニケーション」や「平和首長会議行動計画」についてどう考えているか。



町長 ①日本政府には政府としての外交上の考えの中で反対だったと思います。
しかし、一般国民感情から見れば、なぜ反対なのかと思う人が多くはないかと思えます。町長としての考えとのことです。町民皆さんの感情をすべて把握することはでき

ませんが、個人としては政府が反対したことには賛成できません。
②今後においても行動計画に沿って核兵器廃絶に向けた平和行政を推進することが必要と考えます。
行動計画等を尊重しながら、町としてできる限りの努力をしていきたいと思えます。

山田 邦彦議員

バリアフリー「フルフラット」の町営(県営)住宅の建設を

なると推測しています。高齢者の多くは「自宅で最期を迎えたい」と願っていますが、住宅改造では追い付かない「バリア」が存在しているのが現状です。そこで、①バリアフリーの町営住宅を建設してはどうか。②ケア付きが良いと思うがどうか。③町営住宅に住んでいる人も「住み替え」可能にする。④一中の跡地も候補になると思っています。

町長 ①④は県へ住宅団地の建設を要望したことがあります

が、新規の団地は造れない、既存住宅の改修を進めているとのこと。要望は受け付けてもありませんでした。

町では、住宅団地の建設を進めるのではなく、民間のアパート等の活用を図り、あるいは

は利用できる空家を借り上げまたは買い上げて整備を図り、町営住宅として貸し出す方法も検討していきます。団地として1ヶ所に集中させるのではなく、地域を活性化させる観点から各地域へ分散させる方法が良いのではないかと考えます。すべての家を改造するのは無理でも、何戸かはバリアフリー住宅として改造して貸し出しができればと考えます。ケア付き住宅は、現状ではそれぞれの機能を備える福祉施設等を利用していただくことが得策と考えます。



甘楽町議会だより(5)